

ハ丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。 こっこめ通信102018 「積み重ねた結果」号

島も9月になってようやく気温が下がり、寝苦しい夜から解放されています。9月は連休が2回もあり、夏が終わってもまだまだ観光のお客様が来島し賑わっていました。キノコ観察地では観察会終了後も散水を続けていたので光るキノコも少し見られたようです。しかし、八丈島から南に2,000km以上離れた台風22号からとても大きなうねりが到達してしまい、残念ながら海でのアクティビティーは楽しめなかったかもしれません。

さて今回は、「光るキノコ無料観察会終了」「八丈島で見られる蛾」「ハシグロヒタキ再び！」のお話です。

光るキノコ無料観察会終了

2018年(平成30年)の光るキノコ無料観察会は、実施日数34日、2,076名の方々に参加して頂き、8月31日に無事終了しました。

この観察会は、東京都八丈支庁(受託者:公益財団法人東京都公園協会)と特定非営利活動法人八丈島観光レクリエーション研究会、一般社団法人八丈島観光協会との協働事業として2010年に始まり、9年目を迎えています。

今年は台風の影響により、数日におよぶ交通機関の欠航が2回あり、さらにお盆時期の臨時便も運航されなかった影響などから、観光客数が昨年よりも減っています。そのためか、観察会への参加人数が伸びませんでした。また、島内に光るキノコが認知され、観察会終了後に島民の方による案内で見に来ていたことも参加者が減った要因かもしれません。

毎年ヤコウタケとエナシラシタケだけでしたが、今シーズンはスズメタケも見られたんですけど・・・。

来年も開催する予定ですが、日程の詳細などはまだ決定していません。5月以降にはホームページなどでお知らせできると思いますので楽しみにお待ちください。



光るキノコ無料観察会、過去9年間の比較データ (2010年と2011年は7月8月分を抜粋)

	実施日数	参加者数	1日平均	観光客数	開始日	未開催日	備考
2018年	34日	2,076人	61.1人	23,610	7/21	毎週水、花火大会当日	台風での中止1回
2017年	42日	3,208人	76.4人	25,202	7/20	花火大会当日	
2016年	25日	1,921人	76.8人	22,502	7/21	毎週火・水、夏まつり、花火大会当日	台風での中止2回
2015年	25日	1,940人	77.6人	22,593	7/18	毎週火・水、夏まつり、花火大会前夜祭・当日、お盆期間	
2014年	26日	2,582人	99.3人	22,649	7/19	毎週火・水、夏まつり、花火大会前夜祭・当日、お盆期間	
2013年	29日	2,723人	93.9人	25,477	7/20	毎週火・水、夏まつり、花火大会当日、お盆期間	
2012年	35日	3,513人	100.4人	24,587	7/21	夏まつり、花火大会当日、お盆期間	
2011年	59日	4,345人	73.6人	23,605	6/17	休みなし(7～8月中止3回)	～9/30(中止7回) 99日5,678名
2010年	62日	3,433人	55.4人	24,050	6/25	休みなし	～9/30(中止1回) 97日4,598名
TOTAL	337日	25,741人	76.4人				*観光客数は、八丈町産業観光課による来島者からの推計で7月8月の合計数

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島で見られる蛾

ビジターセンターでは過去の記録や新しく撮影した写真などから鱗翅目（蝶や蛾の仲間）をリストアップしています。現在 400 種になっていますが、その中で伊豆諸島亜種（画像下の説明は他の亜種との違い）や最近確認されたアブラナ科の害虫として知られているケブカニセノメイガを紹介します。

エグリヅマエダシヤク（伊豆諸島亜種）



2007年9月30日

少し暗色で、前翅外縁上部の突出があまりみられません。亜種は、大島・三宅島・御蔵島・八丈島に分布。

アシプトチズモンアオシヤク（伊豆諸島亜種）



2005年11月3日

前翅の中横線が非常に細く、前・後翅後縁部の褐色部も他地域に比べて少ないです。亜種は、八丈島に分布。

コヨツメアオシヤク（伊豆諸島亜種）



2006年12月12日

オスもメスも小型で、横脈上の眼状紋は小さく、無い個体もあります。亜種は、式根島・三宅島・八丈島に分布。

オナガミズアオ（伊豆諸島亜種）



2007年7月20日

姿がオオミズアオに似ていることやオスの交尾器に違いが見られます。亜種は、新島・利島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島に分布。

アカスジシロコケガ（伊豆諸島亜種）



2009年8月13日

前翅にも後翅にも赤い模様が全く無く、真っ白になります。亜種は、御蔵島・三宅島・八丈島に分布。

キベリネズミホソバ（伊豆諸島亜種）



2014年5月21日

前翅が淡黄色になります。亜種は、三宅島・御蔵島に分布とされていますが、八丈島でも確認されています。

スジベニコケガ（伊豆諸島亜種）？



2007年9月25日

班紋が消えて黒褐色になるというが、通常の班紋のタイプも多いです。亜種は、三宅島・御蔵島・八丈島・八丈小島に分布。

オイワケヒメシヤク（伊豆諸島亜種）



2007年4月3日

赤みが少し強く、翅の横線もはっきりします。亜種は、三宅島・御蔵島・八丈島に分布。

ケブカニセノメイガ



2018年9月24日

先月、島内のブロッコリーの畑で幼虫が見つかり、飼育し羽化しました。伊豆諸島では伊豆大島、御蔵島での記録あり。

ハシグロヒタキ再び！

9月22日、島に住むバードウォッチャーの方から、「この鳥はなんですか？」との問い合わせがありました。メールに添付された画像を確認すると「ハシグロヒタキ」でした。

ハシグロヒタキは2014年10月12日に大賀郷園地でも確認され、こっこめ通信2014年11月号でも紹介しています（当時はイナバヒタキとしていました）。今回で2度目の記録となります。電線に留まったり、地面に下りて虫を探したりを繰り返していました。26日以降は確認できていません。

ハシグロヒタキ



2018年9月23日

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月9日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第9回） 調査者：青木、沖野、沖山、茂手木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオツヅラフジ	花と実	31	ヤブマオ	花と実	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	実	32	ラセイタソウ	花と実	2	ウチワゴケ	
3	アキノノゲシ	花				3	オオタニワタリ	孢子嚢
4	アシタバ	花				4	オニヤブソテツ	
5	イヌタデ	花				5	カニクサ	孢子葉
6	ウスベニニガナ	花と実				6	コハシゴシダ	
7	ウリクサ	花				7	タマシダ	孢子嚢が目立つ
			木本			8	ナンカイイタチシダ	
8	オオアレチノギク	花と実	1	アオキ	若い実	9	ノキシノブ	
9	オニタビラコ	花	2	アカメガシワ	熟した実	10	ハカタシダ	
10	カラムシ	花	3	イヌビワ	実	11	ハチジョウカナワラビ	
11	クグガヤツリ	実	4	エノキ	実が残る	12	ハチジョウシダ	
12	クズ	花	5	オオバヤシャブシ	実	13	ヒトツバ	孢子葉が目立つ
13	クワクサ	花と実	6	オオムラサキシキブ	実	14	ホシダ	
14	コミカンソウ	花と実	7	ガクアジサイ	実	15	マツバラソ	
15	ザクロソウ	花と実	8	シチトウエビヅル	実	16	マメヅタ	
16	シマボロギク	花	9	シチトウタラノキ	花	17	ミゾシダ	
17	ススキ sp.	花	10	シマクサギ	花	今回はシダ植物17種を含む、72種の植物を観察しました。芝刈りが行われてから間が無いいためか、芝生の雑草はあまり観察されませんでした。 樹木では例年あまり実を着けないヤブニッケイが良く実っているのが目立ちました。 また、一瞬だけだったのではっきり確認することはできませんでしたが、ナガサキアゲハらしい蝶が飛び去るのを目撃しました。		
18	チチコグサモドキ	花と実	11	スダジイ	実の虫こぶ			
19	ツメクサ	花と実	12	タイミンタチバナ	実			
20	ツユクサ	花	13	テイカカズラ	実、花も残る			
21	テリハノブドウ	実	14	トベラ	実			
22	トウバナ	実	15	ハゼノキ	実			
23	ハチジョウアザミ	花	16	ヒサカキ	実			
24	ヒメムカシヨモギ	花と実	17	ヒメユズリハ	実			
25	ヒメヨツバムグラ	花と実	18	ハウライカズラ	実の虫こぶ			
26	ヘクソカズラ	花	19	ホルトノキ	実			
27	ホソバツルメヒシバ	実	20	マンリョウ	実			
28	メナモミ	花と実	21	モチノキ	実			
29	メリケンカルカヤ	蕾	22	モッコク	実			
30	ヤブガラシ	花	23	ヤブニッケイ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内で確認された「クロコノマチョウ」にスポットを当ててみたいと思います。



クロコノマチョウ *Melanitis phedima*

タテハチョウ科のチョウ。関東地方以西から奄美大島に分布。夕方から活動するので“蛾”のようですが“蝶”に分類されます。

八丈島ではウスイロコノマチョウの記録がありましたが、このクロコノマチョウの記録はありませんでした。写真は2012年8月21日に植物公園内で撮影されたもの。

2018 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ガイドウォーク
7 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野 ハイキング」	8 寒露 ガイドウォーク	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
21 ガイドウォーク	22	23 霜降	24	25	26	27 ガイドウォーク 八丈学講座 「秋の植物観察会」
28 ガイドウォーク	29	30	31			

イベントプログラム

全国自然歩道を歩こう月間
「八丈富士裾野ハイキング」

全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。
10 / 7 (9:30 ~ 約6時間) 小学生以上 (小学生は保護者同伴)
ビジターセンター集合・解散 参加費: 500円 (保険・交通費) 定員: 20名

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう!
10 / 14 (13:30 ~ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員: 15名

八丈学講座 「秋の植物観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、和泉親水公園周辺からホテル水路で秋の植物を観察します。
10 / 27 (13:30 ~ 約1時間半) 中学生以上
和泉親水公園駐車場集合・解散 参加費: 50円 定員: 15名

ビデオプログラム

10:00 ~ 八丈・海・生きものたち
11:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
14:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
15:00 ~ おじゃりやれ 八丈島
16:00 ~ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2018.10.1 第209号

開館時間 9:00 ~ 16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888

編集後記

“蛾”類のリストアップをしていましたが、難しいです。ビジターセンターで同定したものの中には誤同定があるかもしれません。でも
図鑑を何度も何度も繰り返し見ていたら楽しくなってきたので続けます。しかも、かわいく見えてきました。(高)